



「学校教育目標」

絆を深め、地域社会に
貢献できる生徒の育成

- 自ら学ぶ ○思いやる
○体を鍛える

文責 竹田 圭志

新人体育大会スタート

コロナ禍で開催が危ぶまれていた新人体育大会ですが、十分な感染対策を講じた上で開催できる運びとなりました。ただし、**感染拡大防止のため、出場するに当たっての約束事（何日か前からの健康観察を記録した個票を持参する）や、応援生徒数の制限、保護者の観戦禁止など、多くの制限をクリアすることが、大会開催を成立させる条件となります。**このことで、一緒に練習してきたチームメイトを応援に連れて行けないなど、顧問の先生方にとっても苦渋の判断が迫られるケースが出て参ります。なお、保護者の皆様にも厳格に約束を遵守して頂けない場合には、今後の大会等ができなくなるなど、子供たちに不利益な事態が生じる可能性があります。何卒、ご理解とご協力をお願い致します。詳細は、各部活動顧問から後日お知らせ致します。

さて、昨日(9/17)は、比企地区大会予選会としての皮切りとなる陸上競技大会予選が、東松山市陸上競技場で開催されました。本校からは、7名(2年生6名、1年生1名)が参加し、他校生徒たちと健脚を競いました。

本校は陸上競技部がありません。生徒の主体性を重視し、希望者を基本に学校代表として選手団を編成します。保健体育担当の齋藤晋也教諭からの呼びかけに、初めのうちは希望者がなかなか集まらない状況だったようです。最終的に7名が、「我こそが！」と手を挙げてくれました。まずは、7名のその勇氣と決断に拍手を送りたいと思います。大会会場でも、7名は、胸を張って堂々とした態度でしたし、役員の仕事などにも我先にと積極的に取り組んでくれました。大会を通して多くのものを吸収し学べたことだと思います。まさに、「学び、鍛え、尽くす(本校の目指す生徒像)」を体現してくれて、とても嬉しく誇らしく思いました。

以下に、結果をお伝えします。

男子 1年 100m	予選	16"10	【予選惜敗】
女子 2年 100m	予選	14"80	【予選惜敗】
〃	予選	14"93	【予選惜敗】
男子 200m	決勝	26"47	【第4位】
男子 走幅跳	決勝	5m17cm	【第3位】
〃	決勝	5m09cm	【第4位】
女子 走幅跳	予選	3m95cm	【予選惜敗】



本今朝、職員室で昨日の結果報告をする陸上の大会参加7名の選手たち。先生方から、大きな拍手が送られました。

男子走り幅跳びで2年生が、見事3位で賞状を手に入れました。また、賞状には手が届きませんでしたが、男子200m 2年生、男子走幅跳 2年生、4位で入賞を果たしました。堂々たる結果です。おめでとうございます。全員がベストを尽くす素晴らしい走り、跳躍でした。

水泳競技では、標準記録突破者が直接「県大会」に出場という形で新人体育大会が開催されました。本校からは、1年生女子が50mバタフライに出場し、力の限り素晴らしい泳ぎを見せました(33"40の自己ベスト)。 <9月9日、川口市青木公園水泳競技場>

【陸上競技大会の様子】



お知らせ

昨日(9/17)の埼玉新聞にも記事で大きく扱われていましたが、小川町立図書館の地下ギャラリーで、広島県の高校生が被爆体験証言者に聞き取りをしたイメージをもとに描き上げた「原爆の絵」と、「戦時下の小川町」の展示会が9月22日(火)まで開催されています。入場は無料です。

先日、図書館に伺い拝見させていただきました。特に、町内の「出征兵士と家族写真」は、胸に刺さるものがありました。テレビ番組や書籍などで、どれだけ太平洋戦争が悲惨なものであったかは、何度も見聞きしてきたつもりでしたが、今回の展示を通して、改めて日本中どここの家庭でも辛く悲しい思いがあったのだと、戦争を非常に身近な恐ろしいものだと感じました。また、戦争を知らない若い世代(高校生)が、被爆体験者の肉声を聴いてその悲惨な状況を「戦争を知らない世代」に伝えようとする試みも、とても大切なことだと感じました。

まだまだ、コロナ感染が心配される明日からの4連休、もし時間がございましたら、足を運んでみてはいかがでしょうか。

お知らせ

地域回覧等でご案内の通り、新型コロナウイルス感染対策と児童生徒の健やかな学びの保障を両立しながら教育活動を進めるために、小川町教育委員会では「スクールサポートスタッフ」を募集しています。

- ・勤務内容 ○校内の消毒作業や教室の換気業務 ○健康観察のとりまとめ作業
- 授業補助(印刷など) ○その他

勤務時間や報酬等へのご質問等がありましたら、広報誌等でご確認いただくか、応募の窓口「役場庁舎3階 教育委員会 学校教育課 学校教育グループ」にお問い合わせください。